

「業」「宿業」をいただきなおす

2019年9月、「第11回真宗大谷派ハンセン病問題全国交流集会」が富山県において開催されました。そこでは、「ハンセン病」「イタイイタイ病」問題の歴史の中で、僧侶が「業病」という言葉であきらめを説いてきたということが問われました。つまり、

「業病」… “過去の行いの報いによってこんな病気になったのだ”
“前世の種まきが悪かったからだ”

と受け止めさせ、現状をしかたがないとあきらめさせていく在り方を説いてきたのです。

しかし、あらためて「業」とは何かと問われると答えに苦しみます。私たちは「業」ということを曖昧なままにしてきたのではなかったでしょうか。今回「業」「宿業」という仏教の大事なことばをいただきなおす研修会を持ちたいと思います。ぜひ、1人でも多くの参加をお願いします。ふたたび同じ過ちを犯したくないから…。

【期 日】 2021年6月29日（火）

【会 場】 富山東別院 本堂

【講 師】 戸次 公正 氏（大阪教区 第22組 南溟寺住職）

※本研修会は、4月22日に予定していましたが講師の体調上の都合により延期になったものです。講義は録画したものの上映になります。講師は来場されません。

【対 象】 どなたでもご参加ください（申込不要）

【日 程】 13：30 受付

14：00 開会・講義（録画上映）

17：00 閉会予定

【持 物】 真宗聖典（講義で使用します）

【参加費】 500円